

2学期が始まるにあたり

今年も暑い夏でしたが、夏季水泳指導も実施できて良かったと思っております。また、7月20日に開催されました「第39回夏祭りふれあい盆踊り大会」は、雨に降られることもなく涼しい中で実施でき、1181名の来場者があり、盛大な夏祭りとなりました。当日は、多くの卒業生も来校していました。「毎日、休まずに仕事を頑張っています。」「今日は、友達に会えてうれしいです。」と社会人として頑張っている卒業生の声も聞くことができました。また、多くの地域の方も来校され、本校と地域とのつながりの深さを実感することができました。PTA役員、夏祭り実行委員、保護者の皆様の御協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、長い夏休みでしたが、御家庭ではどのように過ごされましたでしょうか。家事に取り組んだり、プールや海で水に親しんだり、帰省されたり、夏ならではの体験をした子供たちも多かったことと思います。

私は、「夏休み」というと、今から約30年前(若手と言われていた時代)のことを今でも昨日のこのように思い出します。当時は、中学校の特別支援学級の担任とボート部の顧問を務めていました。全国優勝を目指して、休みなく練習場に通り、中学生と一緒に汗だくで真っ黒に日焼けしていたことを思い出します。私自身、経験したことのないボート(ナックルフォアという4人の漕ぎ手で1人コックスという指示を出す人の5人で1チーム)は、とても素晴らしいスポーツでした。

ボートは、体力、気力、技術の総積であり、総和ではないと聞きました。どれか一つ欠けていても「0」になってしまいます。また、チーム力が問われるスポーツです。ある一人の漕ぎ手の力が強いとボートはその力の影響を受けて曲がって走行してしまいます。曲がって走行するのを防ごうと、コックスが舵を操作するとボートの推進力が弱まり、スピードが落ちてしまうのです。漕ぎ手全員が同じタイミングで水をとらえ、同じ力で漕がないとまっすぐに走行しないのです。コックスがあまり舵をとることなく、まっすぐに走行するようにコックスの指示のもと、皆が息を合わせ、同じタイミングでオールを水中に入れて、同じ力で漕ぐのです。体力もいるスポーツで、始めに全力を出しきってしまうと最後まで漕ぐ力が残らなくなってしまいます。あわてず、力まずに大きく漕いでゆくの。「ここだ。」という勝負時にコックスの指示で、漕ぐスピードを上げてスパートをかけるのです。

私は、教育も同じではと思っています。体力(健康な心と体)、気力(子供への強い思い)、技術(専門性・指導技術)のどれ一つ欠けてもいけません。また、一人だけの力でなく、チーム全員が息を合わせ、力を合わせていかなければ、まっすぐに進まないのです。また、ボートでは、準備や片づけをする時に、誰かが指示を出し、その行動をとった後に必ず、指示を出した人は、「ありがとう」と返すことが習慣となっています。練習場では、いつも、「ありがとう」が響き渡っていました。

2学期は、宿泊防災訓練(高等部1年生が実施)、現場実習、修学旅行、移動教室、校外学習、学習発表会等、行事もたくさん計画しています。日々の学習で積み上げた力を学校外で発揮したり、多くの人の前で成果を発表したりすることで、自信をつけ、自己有用感や自己肯定感を高めていきたいと考えています。

児童・生徒の伸長のため、保護者、地域、関係機関の皆様との連携を更に密にし、全教職員の力を合わせて努力していきます。今学期もどうぞ、よろしくお願いいたします。



<トイレ工事のお知らせ>

衛生面や美化の面、そして機能面や快適さの改善を図る校舎北側トイレ改修工事がスタートしました。児童・生徒の教育活動に支障のないよう十分に配慮しながら行う予定ですが、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。